

2. [社会奉仕活動]

「福祉施設『リバティ若栗』入所者と トウモロコシ共同栽培」

高萩市島名の「福祉ふれあい畑」で、リバティ若栗入所者と共同で4月に種をまき7月に収穫祭をおこない、その収益をカンボジア・ストリートチルドレン支援にあてています。



3. [社会奉仕活動]

「花貫川護岸堤のアジサイ植栽管理」

2004年、2006年に多くの市民の協力を得て、花貫川護岸堤にアジサイ470本を植樹しました。6月から7月にかけて花が咲き、市民の憩いの散歩道となっています。



4. [職業奉仕・青少年奉仕活動]

「高萩中学校・秋山中学校職業出前講座」

2006年から高萩中学校・秋山中学校一年生に、「職業の意義」・「喜び」・「職業選択」などについて、若いパネラーが具体的に説明し、中学生一年生が自分の進路や将来の職業について考える機会としています。



5. [青少年奉仕活動]

「少年柔道大会」

青少年の健全育成を目的として、柔道で頑張る地域の小中学生の交流と体力・技術の向上のため、毎年12月に高萩・北茨城ロータリークラブ共催で開催しています。



6. [ロータリー米山記念奨学会事業]

「米山記念奨学生支援活動」

全国のロータリアンの寄付金により、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給する日本最大の民間奨学事業で、年間約700人の留学生を支援しています。2013～15年にかけて高萩ロータリークラブは茨城大学大学院で学ぶマレーシアのMohammad Zulhazimさんの世話クラブとなり支援しています。



(1)ロータリークラブの創立者

1905年2月23日シカゴ市で、ポール・ハリス（弁護士）の呼掛けにより、ハイラム・ショーレー（洋服生地商）、シルベスター・シール（石炭商）、ガスターバス・ローア（鉱山技師）が、ローアの事務所に集まり、親睦と相互扶助を目的とするロータリークラブを創立。



(2)ロータリークラブの歴史（一部抜粋）

- 1905年 2月23日 ポール・ハリスが、シカゴにロータリークラブ創立
1920年 10月20日 日本最初の東京ロータリークラブ(世界で855番目)創立
続いて、大阪、神戸、名古屋、京都と順次創立
1951年 3月6日 茨城県最初の水戸ロータリークラブ(世界で7724番目)創立
1953年 6月10日 茨城県で2番目に日立ロータリークラブ創立
1970年 10月30日 茨城県で18番目に高萩ロータリークラブ創立

(3)ロータリークラブの会員数

世界(200か国以上)	34,558クラブ	1,220,115人	(2013.6末)
日本	2,281クラブ	88,744人	(2013.11末)
茨城県	58クラブ	2,011人	(2013.12末)
高萩ロータリークラブ		31人	(2013.12末)

(4)ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

この「クラブ広報版」は、高萩ロータリークラブの主な奉仕活動について編集・記載しました。「クラブ広報版」および「高萩ロータリークラブ」等について、ご意見・ご感想をお寄せください。今後とも、よろしくご協力・ご支援をお願いいたします。

発行者 高萩ロータリークラブ
会長 大高 司郎
幹事 棚谷 稔
(担当 クラブ広報・会報委員会)
事務所 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内
Tel/Fax 0293-24-0505
例会日 毎週水曜日 12時30分

